

しいたけ大国復興に向けた大きな一歩 ～第7回 一関市乾しいたけ品評会を開催～

1 はじめに

一関市乾しいたけ品評会は、東京電力福島第一原子力発電所事故以降、放射性物質の影響により開催が見送られていましたが、個別の出荷制限解除が少しずつ進み、生産者等から品評会の再開を望む声も上がったことから、10年ぶりに開催されました。

2 審査会

審査会は、令和3年5月26日に一関地方森林組合の東磐木材流通センターで行われました。出荷制限解除を受けた市内47名の生産者のうち23名(複数出品、家族名での出品を除いた実人数)の生産者から42点(茶花どんこ14, どんこ12, こうこ3, こうしん13)が出品されました。

審査は、鈴木一関農林振興センター所長を審査委員長とし、関係機関の職員5人が行い、品柄毎に優等賞1点、1等賞1点、2等賞2点、3等賞3点を決定しました。(こうこの優等賞の該当はなし)



3 展示会・販売会

展示会・販売会は、令和3年5月28日に市

内のJAファーマーズいわて平泉で開催されました。出品された42点の乾しいたけを展示しながら、乾しいたけの量り売り、ほだ木の販売、パネル展示、しいたけレシピの配付が行われました。準備した乾しいたけは、好評のうちに完売し、復興に向けた大きな一歩となりました。



4 おわりに

他地域からの原木購入など生産現場の苦境は続きますが、10年ぶりの品評会開催は、生産者にとっては大きな励みになったと思います。

また、審査会、展示会・販売会いずれも報道機関に多数取り上げられ、一関市のしいたけ生産の現状を知って頂くことができました。